田辺写真館が見た”昭和”

著者名	田辺聖子	発行年	2008年
出版社名	文春文庫	ページ数	221ページ
値段	600円	ISDN	978-4-16-715342-7
コメント	ちょっとおすまし。写真館で撮った写真。 だから、この本の主人公は「家族」。写真技師の父が撮った妻や愛娘だから、笑顔がみんなやわらかい。その愛娘が長じて作家となって、家族や親戚や出入りの職人さんたちとの思い出をしっとりとまとめた。 戦争すらも、なつかし味にくるまれた昭和アルバム。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
反社会性人格者 ☆☆☆☆	自分が生きていない時代の本を読む時に写真がついているのはありがたい。 そして、写真に写っている人々のハイカラ振りには驚かされる。 筆者も「現代人を驚かせくて写真を載せている」と意図を明かしている（「昭和初期の子供ファッション」参照）。 不適切かもしれないが、戦争はどこへ？と思ってしまうかも・・・。 はれの日にめいっぱい着飾るのはいつの時代も同じだという事だろう。			
	38-48、108-118、218-230	32P (30分)	108-118	2009/02/19 23:24:51
ベル ☆☆☆	祖父の昔の写真もこんな感じだったなと思いだした。 自分の中の古き良き時代のイメージに近かった。			
	1-79	79P (30分)		2009/02/18 22:33:49
前田 ☆	よくこんなのが本になるなぁと思った エッセイはあまり好きじゃないってのもあるけどなんか全く知らない人のアルバムをみてる感じだった			
	1－100	100P (30分)		2009/02/16 20:57:56
Karagounis fan ☆☆☆	小松崎茂の昭和の東京を見た直後に見たが、全く昭和の印象が違った。 昭和は長いから当然っちゃあ当然なんですが。 この頃の時代の移り変わりは早いのだなぁと感じた。			
	98-228	139P (100分)	200-207	2009/02/16 15:08:11
yatta ☆☆☆	写真からその当時を振り返った本。写真ごとに１つ１０ページくらいなので、読みたい部分だけ選んで読めたので、飽きなかった。			
	208-228	21P (18分)	208-217	2009/02/12 12:28:08
弟子 ☆☆☆	ああ、昭和初期だと思わせる写真ばかり。ひとつの章について10ページほどと短くて読みやすく、私は章の始まりについている句を読むだけでも楽しめた。それにしても昭和初期にもうミッキーマウスは有名だったんだなあと感心してしまった。			
	8-57,78-87,98-107,128-137,152-157,188-197	95P (30分)	好きな写真をどうぞ	2009/02/10 16:49:55
DNA ☆☆☆	昭和初期のころを彷彿させた。 すらすら読めた。			
	1-221	221P (100分)		2009/01/27 15:03:37
クマー ☆☆☆☆	読んでいて感じたが、昭和、主に戦前の写真を見るとまるで他の国の出来事を見ているように感じる。「祝招集」と書かれた垂れ幕の前で撮られた家族写真、日の丸の前で町内の人に見送られるサブロ兄ちゃん。僕にとっては戦争というもののリアリティがあまりに希薄なためか、見ていて不思議な感覚を覚えた。			
	1-235	221P (15分)	198-207	2009/01/14 16:31:47

ap ☆☆☆☆	作者自身の思い出を振り返っていて、読むと昭和の大阪のリアルな生活を感じることができました。 写真ごとに完結しているので、気になったのだけ読めて良かったです。		
	8-57、88-116、126-148、150-157ページ	104P (60分)	2008/11/30 23:04:36
マシュ ☆☆☆	昭和初期の雰囲気がちょっとわかった。		
	1-47	47P (30分)	2008/11/17 16:23:10
kate ☆☆☆	写真が多かったので楽しく読めた		
	1-221	221P (40分)	2008/11/10 16:40:18
snsk ☆☆☆☆	昭和に撮られた写真は、一枚一枚重みがあり、思い出を懐かしむような形でつづられている。 写真をパラパラと見るだけでも昭和の雰囲気が伝わって面白い。		
	1-180	180P (30分)	2008/10/28 23:44:45

ＴＯＰへ

バンクーバー朝日軍

著者名	テッド・Y・フジモト	発行年	2008年
出版社名	文芸社	ページ数	183ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4-286-03997-8
コメント	この一冊に賭けた思いのたけがハンパじゃない。 　もう90年以上もの昔、はるかカナダの地にて、人種差別と闘いつつ勇名をとどろかせた日系移民の野球チームがあった。それが「朝日軍」。その歴史を、今ここに刻んでおきたい、なぜなら亡き父がそのチームのエースピッチャーだったから。 　定年後、ようやく時間のゆとりを得て人生の宿題に取りかかったフルモトさんの気合いが、熱いスポーツ物をさらに熱くする。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
monkiti ☆☆☆☆	僕は、小さい頃から野球ばっかやってきたのに、朝日軍のことを初めて知りました。そして、そのチームが強かったことも初めて知りました。昔の偉大な野球選手達の話を聞いたり、読んだりするといつも、今の野球選手達ももっとがんばれって感じずにはいられません。			
	1-206	206P (120分)		2009/02/19 10:11:33
ri-si- ☆☆☆☆	小説のような感じなので全部読むべきだと思います。			
	1-207	207P (90分)		2009/02/09 10:17:29
heat-active ☆☆☆☆☆	野球の話だったので興味が持てるかと思ったらあっという間にはまってしまい、夢中で１００ページ近く読んでしまった。 底辺から優勝へと上り詰めていく途中で起こる内部分裂や戦略の改良など簡単には頂点に立てずに一進一退を繰り返すさまがとてもおもしろかった。			
	80-171ページ	92P (15分)	105ページ	2009/02/03 23:06:47
so ☆☆☆☆☆	野球の話になったとこからしか読んでないけどすごく面白かった。読み終わってからあとがきを読んだとき「いい息子だ」って思った。			
	80-207	128P (120分)	あとがき	2009/01/28 00:45:37
sweets ☆☆☆	カナダの日系社会に関心が持てたことが良かった。			
	all	183P (90分)		2009/01/27 15:42:41
david wright ☆☆☆☆	スモールボールとかいうわけのわからない時代遅れの野球の原点がわかった			
	1-183	183P (90分)		2008/12/28 18:30:37
自由教育 ☆☆☆☆	野球の場面もいいが、カナダにおける日本人社会の境遇を描いたところもよかった。カナダのチームに対抗すべく完成したスモールベースボールは、現在の日本のプレイスタイルに引き継がれているようだ。			
	15-79、112-161	115P (60分)		2008/12/11 14:13:29

弟子 ☆☆☆	全く持って野球に関したところを読んでないが、それでも楽しめた。 どうでもいいですが、今でも海外の日本人会とかには野球会なるものが世界中に存在します。移住した家族、日系、単身赴任、そういった日本人が上下関係、会社間身分、そんなの関係なく一堂に集まってまじめにスポーツしたりまじめにバカ騒ぎしたりしています。			
	11-79	69P (30分)	64-79	2008/12/09 05:14:54

うみねこ ☆☆☆☆	かなりテキトーに選んだ作品。 だけど選んで良かった！ 野球のシーンはそれほど面白くなかったが、朝日軍の結末には非常に心をうたれた。またその後の選手たちにも。			
	1-29ページ、80-207ページ	139P (90分)	172-178	2008/11/12 23:01:13

BLOWIN' ☆☆☆	表紙は完全にbaseballなのだが、頭から読むと日本人としてカナダに移った人達の置かれた過酷な状況の描写が続く。 野球のことについてしか興味ないなら112ページから読んだほうがいい。 いや、むしろ前半の野球とは関係ない所の方が大事かもしれない。			
	11-189ページ	179P (500分)	112-189ページ	2008/10/21 18:22:30

ＴＯＰへ

トランクの中の日本

著者名	ジョー・オダネル	発行年	1995年
出版社名	小学館	ページ数	98ページ
値段	2,500円	ISDN	4-09-563013-2
コメント	たぶん戦争体験って、こんなふうにしか手渡してゆけないのかもしれない。 ハエが真っ黒にたかったりんご（90ページ）とか、アルミニウムのお盆（30ページ）とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年……痛みなしでは受けとれない。 写真の重み、それが語るドラマの重みを受けとめつつ、並記されている英語のコメントにも目をとめてください。それもまた、ジョー自身が刻んでいったたいせつなメッセージだから。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
たくや ☆☆☆☆	グロテスクだったり、痛々しかったりする写真もある そういうものって見ることがタブーになっているようなきらいがあるけれど、でも戦争の悲惨さを伝えるには一度は目にしたほうがいいのかもしれないなと思いました			
	全部	98P (40分)		2009/02/20 11:30:06
chicken-run ☆☆☆☆	戦後、廃墟の山となってしまった日本。しかしそこには、塗炭の苦しみを味わいながらも、懸命に生きる人々の姿があった。 日本人として、読んでいてなんだかとてもやるせない気持ちになりました。			
	全部	98P (40分)		2009/02/19 12:38:18
継承者 ☆☆☆☆☆	見たこともある写真があった。それほどに、戦争での悲劇さを伝える写真が多く存在しているということ。 戦争とはこれほど悲惨なものなのか。この本を読むことで、その繰り返してはいけない過ちを伝えていける気がした。			
	1-98	98P (60分)		2009/02/18 14:16:25
kazuki ☆☆	この本にかかわらず現実とは醜いものだと思います。			
	1-98	98P (30分)		2009/02/13 01:26:11
前田 ☆☆☆☆	最初は興味本位でぱらぱら見ていたが最後はとても見るに堪えなかった 今までこういう本は無意識に避けてきたところがあったので改めて見るとかなりショッキングな本だった			
	22-98	76P (30分)		2009/02/01 22:27:25
うみねこ ☆☆☆☆	前半の部分は、ああなるほど、たしかに、みたいな感じで写真が見せる風景にただ感心するだけだった。廃墟と化した街をみても、こんなの昔みたな程度であった。しかし、後半では原爆で皮膚をひどくやけどした人の写真などがあり、直視できなかったし、戦争の痛々しさがものすごく伝わってきた。こういった話は言葉ではしっていたが写真でみるのは初めてで、写真の感情に訴える力強さをかんじた。			
	1-115	115P (30分)		2009/01/31 15:01:40
funza ☆☆☆☆☆	人々の戦後直後の日常が垣間見れる。 そして、日常だからこそ、リアルに戦争というものを感じた。 敗戦直後、日本人はどんなことを思ったんだろう、そんなことを思いました。			

	1－98	98P (40分)		2009/01/27 12:40:33

evolv ☆☆☆☆☆	あまりにも有名で、あまりにも辛い一枚の写真。教科書などで見たことがある人も多いと思います。 写真家はなぜ人を助けずに撮るのか。何もしないで撮り続けるのか。カメラマンにあこがれたこともあったけど、その答えに納得できず、自分の答えをもてなかった自分が遠い昔にいたなと思い返しました。今でも写真家の気持ちはわからない。それでも写真は好きです。			
	1-98	98P (10分)	ラスト一枚の写真。	2009/01/26 02:11:54

yatta ☆☆☆☆	太平洋戦争。その時おきたリアルをこの本では見ることができます。立ち読みポイントの写真は全員に見てもらい、戦争について考えてほしい。			
	すべて	98P (50分)	96,97	2009/01/20 16:56:29

snsk ☆☆☆☆	悲惨さが写真を通して伝わってくる。 経験をしたことのない私たちにとってはどこか現実味がないが、こんな光景を二度と見なくていいような世の中になればいいな。			
	1-98	98P (30分)		2009/01/14 23:43:14

クマー ☆☆☆☆☆	見渡す限り廃墟と化した佐世保、広島、長崎の写真に改めて衝撃を受けた。 二度とこんなことが起こらないようにするには、どうしたらいいんだろう。			
	1-113	98P (10分)	1-113	2009/01/14 17:25:46

弟子 ☆☆☆☆	嗚呼、写真って卑怯だ。 時代というものを、人間を媒介せずに直接的に伝えてくるから、時に其れは一種の暴力となって襲い掛かってくるように感じる。もっと主観的な体験談とか、当時の価値観とか、意見とか姿勢とか、そういったものを付属してこその歴史なのに、写真というものは全て無視して襲ってくる。 だからこの本は嫌いではない。写真だけではなくて、きちんと人間という媒介を通しているから。			
	all	98P (20分)	写真	2008/12/15 01:14:13

宅急便 ☆☆☆☆	写真を通すことで、単に話できくよりも、現実感をもって見ることができると思う。			
	all	98P (15分)		2008/11/28 10:26:07

マシュ ☆☆☆☆	原爆投下後の瓦礫の中で生活していっている子供たちが印象的だった。 焼き場に立つ少年は、著者の人生を変えたというのも分かる気がした。			
	全部	98P (60分)		2008/11/13 21:22:09

鍋工房 ☆☆☆☆☆	写真を通して、撮影者の心境の変化が伝わってくる。 96-97ページ「焼き場に立つ少年」 これだけでも是非見てください。			
	全部	115P (90分)	96-97	2008/10/25 11:03:20

joker ☆☆☆☆	写真は一見の価値あり。 内容は重いが時間はかからないのでぜひ。			
	全部	98P (60分)		2008/10/21 13:05:20

ＴＯＰへ

木村伊兵衛と土門拳

著者名	三島靖	発行年	2004年
出版社名	平凡社ライブラリー	ページ数	323ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4582764888
コメント	ふたり並べてみたのがいい。ひとりだったら神様のように平伏して拝むしかないけれど、超一流の、でも違うもの、時として対立すらしたものを右と左に並べて見比べることで、写真にこもっている魂の読み解き方が、少し分かってくる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Karagounis fan ☆☆☆	ヒロシマは生々しく、戦争の悲劇がストレートに伝わった。			
	191-214,291-328	62P (20分)	9章	2009/02/18 10:29:21
ヒトラー ☆☆	写真があまり好きでないので、ちょっと。			
	1-74	74P (30分)		2009/02/16 09:20:46
yatta ☆	始めのほうしか読んでないからかもしれないが、いまいち内容がつかみにくかった。自分の感じだが、第一章の「死を撮る」というテーマと内容がいまいち結びつかなかった。			
	8-22	15P (10分)		2009/02/12 11:33:49
下阪神 ☆☆☆☆	一昔前の写真は今と違ってその時代がリアルに映し出されているように感じられるから好き。 その時代の人にとっては違ったのかもしれないが。			
	全部	323P (200分)		2009/02/04 12:36:08
sweets ☆☆☆	興味のある写真に関する文章をランダムに読んでいった。 ヒロシマの部分がおすすめ。			
	all	323P (60分)		2009/01/27 15:26:15
DNA ☆☆☆	さらっとぱぱっと。			
	1-100	100P (30分)		2009/01/27 15:10:11
ザルカヴァ ☆☆	写真織り交ぜながら時代の移り変わりを知る。			
	8－46	39P (15分)		2009/01/21 12:50:17
うみねこ ☆☆	写真の世界というのを全く知らないので、そんなに楽しめなかった。結構わかる人向けな気がした。			
	1-30	30P (20分)		2009/01/20 02:16:22
宅急便 ☆☆☆	1900年代半ばの写真をみるのは好きだ。 そこまで昔ではないように思えるのに、写真から垣間見られる様子はまるで別世界である。 その時代に生きて、今も生きている人たちはこの移り変わりをどのように感じてきたのか気になってくる。			
	写真のページ	50P (10分)		2009/01/04 14:34:51

弟子 ☆☆	写真を読んで文章を見てを繰り返すことになるので、両方同時に攻略するのは難しい。 写真なら写真だけを、文章なら文章だけを読んでいかないと混乱する羽目になる。 時間が過ぎれば二度と出会わないかもしれない“ いい写真 ”を撮るために、シャッターを切り続ける、それはとても不幸なこと。この下りは理解した。			
	8-120,152-174,238-264	163P (40分)	249	2008/12/18 02:17:27

ミニブタぽん ☆☆☆	解説を隠して写真を見て、どっちが撮った写真か当てるのが楽しかった。結構当たりますよ。			
	1-100	100P (60分)	写真	2008/10/30 01:01:33

ＴＯＰへ

ついこの間あった昔

著者名	林　望	発行年	2007年
出版社名	弘文堂	ページ数	240ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4335800559
コメント	和服のおばあちゃんが茶の間で（！）新品の洗濯機のローラーを回して洗濯物をしぼっている。手前には夕餉のしたく。そんなレトロ写真に、そう言えば夏休みに洗濯の手伝いで衣類を「のしいか」にするのは、けっこう楽しかったっけ、と著者自身の思い出を重ねる。 ありきたりの写真解説ではなく、個人の記憶と重ね合わせることで、昭和の内ぶところに、より深く抱かれる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆	みんないきいきしているように見えました。			
	主に写真	20P (5分)		2009/02/20 10:40:33
monkiti ☆☆☆☆	温かみというか、生の生活を感じました。自分が生まれてない時代なのに、「懐かしい」感じがしてしまう本でした。			
	1-143	143P (70分)		2009/02/18 21:39:24
前田 ☆☆☆☆☆	一枚一枚自分はまだ生まれてない頃の写真でけど本当になつかしい気分になった ALWAYSが大好きなので完全にヒットした 一番驚いたのは５０年前の渋谷の町並み こんなにかわるものなのかとびっくりした 今の時代どんどんかわっていってなにかにつけて「時代が違う」とか一蹴されてしまうが、それでもやっぱり昔に見習うべきところもあるんじゃないかなとも思った			
	1-240	240P (60分)	渋谷	2009/02/16 21:05:51
snsk ☆☆☆☆	写真が多く、字も詰まってなかったので読みやすかった。 白黒の写真だがとても温かみを感じる。 時代が過ぎていく中でこの世界は「ついこの間」のはずなのに、とても遠くて羨むような存在に思えるのは、現代の暮らしを便利と思いつつもどこか批判的に考えているからかもしれない。			
	1－227	227P (60分)		2009/02/06 18:42:33
heat-active ☆☆☆☆	昔というのは物資はなかったけど心はとても豊かな時代だったのだなとしみじみ思った。現代は心はどこかに置き去りにされてなんだか寂しいけれど、この本を読むと思わず笑顔になる。			
	12-101ページ	90P (12分)	52,53ページ	2009/02/04 22:15:02
sweets ☆☆☆☆☆	予想外に面白かった。 おすすめ。			
	all	240P (60分)		2009/01/27 15:35:20

☆ ☆☆☆	写真と文章が繰り返される内容で、気負わず読めた。昔の人々の生活が見え、現在との違いを痛感し、おじいちゃん・おばあちゃんとは考え方が違ってしまうのもうなずけた。写真を見ただけでも感情に訴えかけられるものが多かった。			
	1-240ページ	240P (280分)		2009/01/15 12:02:16

so ☆☆☆☆☆	ひとつひとつ短いので気になるとこから適当に読めてよかった。 表紙の写真の章である「荒っぽく、しかし仲良く」は昔はこんな遊びをしててたくましいなと思った。			
	36-139	134P (100分)	52-59	2008/12/29 14:20:25

forex ☆☆☆☆☆	写真がたくさんあって本の内容も分かりやすかった。今の日本を深く知るためにも昔の日本を知る必要があるなと感じさせる本だった。 今は当然、男女別に風呂に入るのが当たり前になってるので昔は混浴の方が普通だったという記述には正直言って驚いた。本当なのだろうか？ そのほかにも現代の日本人が忘れてしまった昭和の風景が事細かに作者の視点から語られていた大変勉強になった。			
	1-251	251P (180分)	180-195	2008/12/19 16:24:24

・・・からお越しの ☆☆☆☆☆	こういうノスタルジック（？）な感じに浸るの好きです。 いまより全然便利ではなかっただろうし遊ぶものもなかっただろうけど、なんか人のつながりを強く感じる。			
	44-67,108-115,124-159,180-195	84P (50分)	44-67	2008/11/25 00:31:46

!? ☆☆	よく一枚の絵からこんなに連想できるなと思いました。			
	12-99.132-187	142P (120分)		2008/11/17 06:11:23

弟子 ☆☆☆☆	さいごのおじいちゃんのセリフがきちんと鹿児島弁で聞こえてしまった。 そうかー、加治木は遠いなあ。がんばれじいちゃん。 体験したことも無いはずの歴史なのに懐かしいと感じてしまうのは、やはり日本人だからなのだろうか。なんというか奇妙な感覚に浸れました。			
	all	240P (120分)	さいご	2008/11/04 01:28:57

ミニブタぽん ☆☆☆	里帰りした気分			
	1－30	30P (5分)		2008/10/30 01:07:44

joker ☆☆☆	タイトルがお気に入り。 自分は、現代のここ日本との、ひと、もの、雰囲気、とりまく環境などなど、そんな違いについて考えながら読みました。 あなたはなにを思うのでしょうか。			
	1－240	240P (90分)		2008/10/23 12:28:11

ＴＯＰへ

赤線跡を歩く

著者名	木村　聡	発行年	2002年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	214ページ
値段	950円	ISDN	4-480-03685-7
コメント	赤線、知ってますか？　花柳界、知ってますか？ 買い手の男たちと、売り手の女たちの歓楽街の夢のあと。うち捨てられたモルタル造りに残る優美なフォルムのファサードやおしゃれなタイル貼りの円柱といった、小さな小さな痕跡をひとつひとつ拾い上げてゆく。正史には決して載らない日陰者だけれど、都市のかけがえのない一部として息づいていたもの。 門の上の木彫りの招き猫（153ページ）は往時、どんなドラマに立ち会ってきたのだろう。思い馳せるごとに、こうした面を視野に入れないのんきな町歩きが小学生の遠足に見えてくる。「親不孝通り」（118ページ）なんて名前、今も残ってるのかなあ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
かける ☆☆	イントロダクションとかがなく、基本的知識のないまま読み進めたので、よくわからなかった。			
	初めと写真すこし。	30P (15分)		2009/02/20 11:37:35
chicken-run ☆☆	知らない町の割とどうでもいい写真集。 内容というほどの内容も無いので、スラスラ読めた（見れた？）。			
	全部	214P (40分)		2009/02/19 12:34:18
継承者 ☆☆	いまいち面白みがわからなかったので、読むのをすぐに辞めてしまった。			
	1-10	10P (10分)		2009/02/18 14:24:57
ベル ☆☆☆	なんの話かと思った。 内容は「へぇ」だったが、写真がたくさんあったのでどんどん読み進められました。			
	1-214	214P (180分)		2009/02/17 11:17:11
前田 ☆	特に何も伝わってこなかった			
	1-100	100P (30分)		2009/02/16 21:08:09
funza ☆☆☆☆	性って人間から離せないものだ。 そんで、赤線行ってみたくなった。			
	1ー214	214P (30分)		2009/01/27 12:36:04
yatta ☆☆☆☆	パラパラと写真を流し見しました。昔と今の街並みの違いを考えるだけでもいい本だと思います。			
	1-99	99P (40分)	写真がカラーのページ	2009/01/20 12:45:34
so ☆☆☆	自分が住んでる町やよく行く町の昔の写真が「へー、こんなだったんだ」という感じだった。写真多いのがいい。			
	1-131	131P (60分)		2008/12/29 14:25:06

柴 ☆☆☆	結構ちゃんと読んでたら意外と時間かかった。赤線という言葉を初めて知った。でもあまり赤線という感じでもなく昔の建築物を追ってるような感じ。			
	全部	214P (120分)	自分の知ってる地名のとこ	2008/12/04 22:08:23

david wright ☆☆☆☆	ストーリーがわかる前に読み終わった			
	1-10	10P (3分)		2008/11/11 00:26:59

joker ☆☆☆☆	拾い読みするはずがすぐに読み終わります。 街並みが、興味深い。写真集として読むのがいいのかもしれないです。			
	1-214	214P (20分)	写真流し読み	2008/11/04 13:17:30

弟子 ☆☆	なんでこういう場所はみごとに近代化の波に取り残されるのだろう？			
	12-55	44P (20分)	新宿	2008/11/04 01:33:57

非食用もやし ☆☆☆	気づいてみたら全ﾟ¯読んでる…。 100ページぐらいまで、古い旅館の写真だと勘違いしてました。			
	all	214P (50分)		2008/10/31 21:12:09

自由教育 ☆☆	東京各地の赤線跡の写真を見て、何か懐かしい感覚をおぼえた。			
	12-105ページ	94P (20分)		2008/10/25 23:11:22

chor ☆☆	売春婦は最初に出てきた「職業」の1つと聞いたことはあったが、やはりこの手の職業は必要なのでしょう			
	12-99ページ	87P (30分)		2008/10/19 21:58:43

TAK ☆☆☆	なんとも怪しい性癖をもったような作者が書いてそうな本です。帯の写真が物語ってます。 一般の婦女子を米兵などから守るためにこういう施設も国をあげて必要だったんですな。 写真ばっかなのですぐ読めます。			
	6-211	206P (120分)	62	2008/10/15 00:48:16

ＴＯＰへ

ウルトラマン誕生

著者名	実相寺昭雄	発行年	2006年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	365ページ
値段	950円	ISDN	4-480-42199-8
コメント	シュワッチ！　変身したら、すうっと空に飛んで行ってほしいんだな、よいしょ、って感じじゃなくて、さ。 注文を受けて特撮がんばる。トランポリン　×。ワイヤーで吊る　×。飛び降りたフィルムを逆回し　×。失敗また失敗の果てに、スタジオの隅にあった板の上にウルトラマンを立たせて、みんなでせいのって板を持ち上げてカメラ前を通過させてみたら、うまく行ったぜ、やっほー。 怪獣たちと一緒に夢を追いかけた円谷プロのあの時代。現場の熱気と失敗談をゆかいな挿絵満載でお届けします。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
uk ☆☆☆☆	ウルトラマンは子供のころ恥ずかしながら怖くて見ていなかった。 しかし撮影の裏側を見ると今から見てみようかと思ってしまう内容だった。			
	13-100	88P (100分)		2009/02/19 22:46:10
ヒトラー ☆☆☆☆	個人的にこういう裏話好きです。			
	1-47	47P (20分)		2009/02/16 09:17:57
Karagounis fan ☆☆☆☆	イラストで撮影の状況を説明したりしていて、見やすく面白い。 ウルトラマン誕生にあたってのスタッフの苦労がよくわかる。 個人的に一番印象に残っているジャミラに裏話が聞けて嬉しかった。ジャミラ戦は倒されてしまう怪獣側の心情を子供達に感じさせてくれる傑作です。怪獣だって好きで悪いことしてるわけじゃないかも知れないんだよ・・・			
	13-112、211-377	267P (120分)	104-105、107-110	2009/02/12 16:22:00
&DO ☆☆☆☆	ウルトラマン雑学本			
	1-100	100P (50分)		2009/02/10 07:01:43
snsk ☆☆	ウルトラマンをよく見ていた人には面白いと思います。			
	1-50	50P (20分)		2009/02/10 01:48:57
!? ☆☆☆	へ～ボタンがあったら押したかった。			
	1-135	135P (70分)		2009/01/28 11:13:28
上場亮 ☆☆☆☆	ウルトラマンはあまり見たことがないが、有名すぎるその作品の裏側が知れてたのしかった。			
	1-152	152P (180分)		2009/01/26 21:40:19
下阪神 ☆☆	ここまで読んだけど、実は、ウルトラマンあんまり好きじゃなくて見ていなかったんだった。 なんで裏側を話されても表がわかりませんでした。			
	1-135	135P (160分)		2009/01/26 18:12:17

so ☆☆☆	最初のほうは興味深かったけど、途中で同じような内容に飽きてしまった。			
	1-163	163P (180分)		2008/12/29 14:09:21

・・・からお越しの ☆☆☆	やはりいいものを作るのには手間がかかってますね。 ウルトラマンの顔のデザインにそんな意味があったなんて。とか思う本でした。			
	29-87,145-172,258-295	125P (70分)	284,285	2008/11/25 00:34:59

Ian ☆☆☆☆	特撮の苦労が伝わってきた。あと結構ストーリーに凝っているなと思った。			
	13-130	118P (80分)		2008/11/19 14:08:48

david wright ☆☆☆	円谷の底力を知った			
	100-135	35P (15分)		2008/11/16 21:03:58

マシュ ☆☆☆	特撮映像を作る苦労がちょっとわかった。			
	3-58	56P (20分)		2008/11/12 23:26:21

弟子 ☆☆☆☆☆	『特撮は日本の伝統文化』の台詞に職人を見た			
	all	365P (120分)	絵	2008/10/30 15:40:37

継承者 ☆☆☆	タイトルにつられて。読み物としては良い。			
	13-194	181P (120分)	なし	2008/10/28 02:18:46

クマー ☆☆☆☆	樋口真司の挿絵がいい。味わい深い。 セブンのオープニングのグニャグニャがどうやって生まれたのか詳しく図入りで書いてあって面白かった。てかそこしか読んでないや。			
	356-366	10P (3分)	355-366	2008/10/23 17:38:07

たくや ☆☆☆☆	たかがウルトラマン。されどウルトラマン。 子供たちに夢を与えるという夢を持った大人たちの熱い仕事風景を感じました。			
	1-100 200-230	130P (150分)	なし	2008/10/16 15:03:21

ＴＯＰへ

戦後日本経済史

著者名	野口悠紀雄	発行年	2008年
出版社名	新潮選書	ページ数	237ページ
値段	1,200円	ISDN	978-4-10-603596-8
コメント	サブプライムかまびすしい昨今、経済学を学ぶ際、具体的なトピックは、やはり意識しておきたい。石油ショックに土地バブル、「絵画は壁にかけた土地だ」った時代を経て、山一崩壊からライブドアへ。 タイトルから予想されるモノモノしい概説ではなくて、むしろ経済界ウラバナシ集といった趣。週刊誌連載なのでトークも軽妙、どこからでも出入り自由。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆	辛口批評でおなじみの野口教授による、戦後からバブル崩壊までの日本経済史を振り返る好著。 野口教授は、もともと大蔵省ご勤務の官僚だったのですね。忘れてましたが。 だからというわけではないでしょうが、大蔵や日銀にかかる内情などが所々開示されていて、非常に興味深い。			
	全部	237P (150分)		2009/02/20 20:44:07
TAK ☆☆☆	表紙読みです。			
	1	1P (1分)		2009/02/16 18:54:39
Ian ☆☆☆☆	官僚たちの裏話的な話だった。			
	3-183	182P (180分)		2009/01/30 21:31:02
マシュ ☆☆☆	軍需省が戦後10日程で商工省に名称変更したりと、一般市民と違って国を動かす立場の人は敗戦直後から新しい日本の為に動き出していたというのが、当然と言えば当然だが興味深かった。			
	1-42	42P (30分)		2009/01/27 23:47:57
上場亮 ☆☆☆☆	思ったよりも細かく分析されていて、いまいち理解しにくい点もあったけど楽しく読めました。			
	全部	273P (240分)		2009/01/26 21:48:31
前田 ☆☆☆☆☆	タイトルはつまらなそうだがとても面白かった よく分析していてすごい納得した 経済政策に歴史認識が必要という主張は新鮮だった			
	1-237	237P (150分)	39-78	2009/01/22 11:01:30
funza ☆☆☆☆☆	経済史についての本を初めて読んだが、筆者の考えがはっきりしていて、また説得力もあってよかったと感じた。 現在のサブプライムショック以降の世界経済と日本経済について筆者はどう考えているのかが知りたくなった。			
	1－237	237P (360分)		2009/01/20 13:07:52

forex ☆☆☆☆	とても興味深く面白い本だった。自分がまだ生まれていない日本を経済という側面を通して感じることができた。私はもともと経済に興味があったので面白く感じたのかもしれないが、経済に興味がない人も引き込まれるような本だったと思う。 特に印象に残った場面はやはりバブル期の日本の経済に言及した章だった。バブル期の日本の狂乱が地価の観点から書かれていて、その当時、東京を売ればカナダ全土が買える、これはおかしなことだと筆者は主張していたが、私としては皆がそれだけ東京の土地を買い求めた結果、それだけの地価になったのだから、別におかしなことではないのではないかと思った。なぜならほんの縦横数十センチの絵画が数億円で取引されることもあるからである。 サブプライムローンがはじけた今言うのもなんだが。			
	1-255	255P (240分)	141-172	2008/12/19 16:13:06

うみねこ ☆☆☆☆	日本の経済史の重要そうなところをだいだい知ることができたのが良かった。金融の専門用語みたいのが結構でてきて、若干読んでて大変だった。経済史をパっと知りたい人にはおすすめな気がする。			
	1-254	254P (200分)		2008/12/03 23:41:13

弟子 ☆☆☆	せっかくなんで初めて立ち読みポイントを活用してみることにしました どうでもいいのですが「石油ショック」という言葉が気に掛かりました。「石油危機」とか「オイルショック」なら通じると思うんですが、「石油ショック」だとなんかなあと妙な気分でした。			
	230-251	20P (5分)		2008/11/11 08:28:44

ri-si- ☆☆☆	最初のほうの戦後は戦時中から変わらないという視点はおもしろいが、最後のほうの欧米のようなシステムがいいというのは、サブプライムローンの破たんの後どう思っているのか聞きたい！と思いました。			
	1-42,120-254	176P (100分)	233-237	2008/10/20 11:29:12

chor ☆☆☆☆	戦後の経済は、戦中からの官僚がそのシステムを活かしつつ作り上げてきたものなのでは？　という考察は面白い			
	16-140	124P (70分)		2008/10/19 22:02:35

ＴＯＰへ

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISDN	978-4-314-01047-4
コメント	この本を歴史書の仲間に入れるのは、さすがにムリあるでしょう。 　でもほら、カエサルや織田信長が重大な決断をするとき、何と何を秤（はかり）に乗せて、どんな思考を経て（あるいは、どんな感情にとらわれて）結論を出したのかをさぐる一助にはなりそう。 　楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	行動経済学をベースとした同類の本を何冊か読んだことがある。そのいずれもが、若干の違和感を感じる内容だったことを記憶している。現象を理論で無理に解明しようとするから歪みが生じるのだと感じていた。ところがどうだろう。ノーベル経済学賞を受賞したカーネマンからの推薦の言葉があるとおり本書は、とても面白い。面白くてタメになる。おそらく現象の取り上げ方がうまいのだと思う。買い物から、レストランでの食事、株式投資やビジネスでの判断、病院や選挙での選択、競馬や宝くじまで、日常生活に出くわす出来事を行動経済学で鮮やかに解明してくれる。			
	全部	302P (150分)		2009/02/20 20:36:06
世界のニシテツ ☆☆☆☆☆	授業でやったので読んでみた。全部読めなかったけど、やっぱり経済は面白い。			
	1-113	113P (95分)	全部	2009/02/20 13:00:09
uk ☆☆☆☆☆	所詮自分たちは人間であり感情がある。 この本を読んで心理学と経済学の結びつきについて知りたくなった。			
	全部	302P (150分)		2009/02/19 22:55:06
鍋工房 ☆☆☆☆	従来の経済学とどのように折り合いを付けていくかが興味あります。			
	全部	302P (300分)	ソマティック・マーカー仮説	2009/02/19 17:55:55
chicken-run ☆☆☆☆☆	授業で紹介されたのを機に読んでみて、完全にはまってしまいました。 実際正真正銘の経済学への理解も不十分な私が、先にこんな本を読んで大丈夫かとも思いましたが、面白いんだからしょうがない。 自分で買ってしまおうか本気で悩んでいます。			
	全部	302P (150分)		2009/02/19 15:38:43
反社会性人格者 ☆☆☆☆☆	経済学泣かせな本だが、経済の感情による不確実性は認めざる負えない。 特に１２章の投資に関する部分は株がギャンブルになってしまう事のちょっとした証明かもしれない。 ただ、人間は経済活動において非合理的な行動をとる・・・だからどうなのか？ 後は自分で考えろって事だろうか・・・			
	1-302	301P (120分)	１２章、６章	2009/02/19 14:27:57
かける ☆☆☆☆	これを読んだことですこし賢く生きれると思います。			

	1-113	113P (60分)		2009/02/18 20:18:17

TAK ☆☆☆☆	授業でも扱った本で、読んでみたらまぁ、いろんな例を上げられていて、楽しく読めました。			
	20-267	248P (120分)		2009/02/16 18:40:30

kazuki ☆☆☆☆	生協にあって買おうかと思ったらありました。 ちなみに父親も持ってました。			
	全部	300P (150分)		2009/02/13 01:24:01

BLOWIN' ☆☆☆☆☆	授業で扱った内容。そのとき、「この本は是非読みたい！！」と思って、購入してしまいました。感情が経済にカラむ様子が分かりやすい言葉で説明されていて面白かったです。			
	1-302ページ	302P (200分)		2009/02/13 00:15:51

ri-si- ☆☆☆☆	まあまあ面白かった。 感情という不確定なものに注目した点が面白い。			
	all	302P (150分)	300-304	2009/02/12 19:25:49

funza ☆☆	話題になっただけのことはある。 でも、翻訳のせいか読みづらい箇所がある。例も納得いかないところも。 行動経済学ってこんなことやるのか！って感じでした。			
	1-140	140P (50分)		2009/01/27 12:22:36

下阪神 ☆☆☆☆	うん、と納得させられる内容だった。 そもそも経済学で定義してる「選好」なんてその人の主観的な感情なんだから。			
	全	302P (330分)		2009/01/26 18:16:51

宅急便 ☆☆☆☆☆	目から鱗な話も多く、いろいろと参考になる。 基本的に経済学的な観点から人の行動をみた話は興味深い。 専門家になるつもりはないが、ある程度知っておくべきだろうと思う。			
	all	302P (160分)		2009/01/25 20:36:24

前田 ☆☆☆☆	なかなか面白かった 心理クイズでは著者の思惑通りはまってしまったのでたしかに、と納得する内容だった ただこれをどう経済の理論として発展していくのかというところは書いてなかったのがちょっと物足りない感じ ただ入門書としては相当わかりやすく読みやすかった			
	1-302	302P (150分)	1-50	2009/01/22 11:07:03

ミニブタぽん ☆☆☆☆	たとえ選んだ選択肢が合理的でなかったとしても、自分がその選択に納得しているなら、その状態が一番幸せだと思います。			
	1-54,262-266	59P (45分)		2009/01/19 14:11:40

☆ ☆☆☆☆	私たちは買い物で迷った時などは、何か理由をつけてどちらかを選んでいるが、なんとなくしていた行為を文章にして教えられ、面白かった。人間はみんな考えることが一緒だなと思った。			
	1-302ページ	302P (430分)		2009/01/15 12:04:28

so ☆☆☆☆	面白かったけど、自分はほとんどの質問に対して多数派の答えと違うほうばかりえらんでいたので、解説に無理やり感を感じた。			
	全部	316P (240分)		2009/01/14 00:08:11

monkiti ☆☆☆☆	３年前ぐらいの自分に読ませて、 アホさ加減を教えてあげたいです。 人の行動っておもしろい。 この本読んでも結局同じ様に行動しそうで怖いです。			
	1-302	302P (180分)		2008/12/19 17:14:09

heat-active ☆☆☆☆☆	この本を読んで意外だったのは、人間が合理的な（最適な）選択をするときに感情はなくてはならないということ。 よく、「自分の感情に流されるな」と世間では厄介者のように言うけれど、感情があるからこそ危険から身を守れる。			
	13-314ページ	302P (250分)	270ページ	2008/12/03 13:57:04

たくや ☆☆☆☆☆	ゲーム理論とかに疑問を持っていた。人間そんな賢くないし、判断なんて曖昧だぞって この本は人間のそんな曖昧だけど、偏りもある感情の動きを教えてくれた。 でも読んだからといって自分が誤った判断の傾向から抜け出せるかは難しいと思うけれど・・・ 完全に把握すれば、素晴らしい詐欺師になれる気がしました。			
	1-136 247-279	169P (50分)		2008/11/27 11:46:53

ketume ☆☆☆☆☆	「感情」を、心理学的に分析し、文章化されているので、とにかく面白かった。			
	all	302P (200分)	247-260	2008/11/16 23:29:10

弟子 ☆☆☆☆	「べ、べつにこんなこと、本を読む前から知ってたんだからね」 これを後知恵といいます。 言われてみて、問題を実際に見てみれば確かに当たり前のような気がするけれど、言われなければ気づきはしない「感覚の錯覚」がたくさん。この本を読んでからデパートに行くと、気づかないうちにいろいろと情報操作されていることになんとなく気づけます。			
	all	302P (120分)	お好きな問題	2008/11/05 13:01:18

Ian ☆☆☆☆	なるほど！と思わせる部分が多く、人間の行動に対する説明が明快な一冊。 後半の方にある脳の話は興味無い人は読み飛ばしてもいいと思います。			
	1-302	302P (180分)	例題と解説	2008/10/22 11:41:16

joker ☆☆☆☆☆	行動経済学をメジャーにしてくれた本。なので星は５こ。 古典的なモデル論の経済だけではないんだよ、ということを知るきっかけにはなるけれど、専門ならばもちろん学術書も参照すべきでしょう。			
	1-302	302P (120分)	ページ端の用語解説欄	2008/10/20 14:07:50

ＴＯＰへ

千年、働いてきました―老舗企業大国ニッポン

著者名	野村進	発行年	2006年
出版社名	角川oneテーマ21	ページ数	214ページ
値段	705円	ISDN	978-4047100763
コメント	事例のおもしろさに、びっくりの連続。 金箔屋さんがケータイ部品つくったり、精錬業が汚染土壌処理屋さんに転身したり、お酒を造りつつアトピーの子供のためのドリンクを開発したり。 プロジェクトXのような熱血サクセス・ストーリーとは異なった、融通無碍で軽やかな現場からのメッセージ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆☆	日本の企業、そして老舗はすごい。 日本の老舗が世界で一番古いというのは日本の誇りだと思う。			
	13-58	46P (30分)	2章	2009/02/20 10:24:41
☆ ☆☆☆	日本に世界最古の会社があると書いてあり、昔寺を建てた会社だそうでかっこいいと思った。冒頭を読んだだけだが日本の職人気質が垣間見えた。			
	1-30ページ	30P (20分)		2009/02/19 23:26:34
so ☆☆☆☆	蚊取り線香がバカ売れしたというところを読んで、すごい簡単な発明でぼろもうけしてうらやましいと思った。 日本が老舗大国というのはなんか嬉しい。			
	1-27,117-139	50P (60分)	117-	2009/02/19 21:27:44
ketume ☆☆☆	零下１９６度の世界に一週間放置されても、９０度の熱湯に１時間浸けても死なない昆虫界のターミネーター、ネムリユスリカ。本の内容とは関係ないところに心を奪われてしまいました。			
	19-58 119-153 193-215	98P (50分)	193,194	2009/02/19 13:33:53
takuto ☆☆	日本に老舗企業が多いことに着眼した作者がすごいとおもった。			
	１－１２０	120P (100分)		2009/02/19 10:50:34
前田 ☆☆☆☆	ケータイなど身近な最新機器に昔からの日本の技術が使われているというのは新鮮な驚きでした。改めて日本の技術力はすごいなと感じた。 印象的だったのはそうした何代も続いている企業は株やバブルなど目先の利益を追いかけていなかったからこそで、技術力だけで勝負している様は職人というかプロフェッショナルだな、と感じました。 取材もしっかりしていてとても読みやすい本でした。			
	1-239	239P (60分)		2009/02/14 00:14:27
Karagounis fan ☆☆☆☆	思わず「へぇ～」と言ってしまうような日本の技術がたくさん。 日本の技術ってこんなに凄いんだぞ！ってただ言ってるだけの感じもするけど、その分変に難しくなくて読みやすかった。			
	13-79、157-239	150P (90分)	176	2009/02/11 12:06:58
上場亮 ☆☆☆	自分の持ちネタが増えました。 事例がとても楽しかったです。			
	1-50	50P (60分)		2009/01/26 21:51:54
ザルカヴァ ☆☆☆☆	バイオテクノロジーの話。読みやすく、学ぶことが多い。敬意を持つことの大切さが伝わる。			
	81-116	36P (20分)		2009/01/14 21:18:23

forex ☆☆☆☆☆	サクサク読めて、とてもおもしろかった。 ただ、この作者は日本人のことを少々過大評価してしまっているかなと思ってしまった。日本人がここまで多くの老舗企業を残してこれたのは日本海で大陸から遮られており、外国の侵略を免れてきたという地理的な要素の恩恵も小さくないと私は考えるのだが。 今尚、地域のために切磋琢磨している老舗企業の方にはこれからも頑張っていって欲しい。			
	1-84	84P (40分)	61-79	2009/01/14 20:40:51

世界のニシテツ ☆☆☆☆	日本の町工場のすごさがわかります。不景気の中日本はまだまだやれるとそう思わせてくれました。			
	11～59、155～191	96P (150分)	155～191	2008/12/18 00:42:18

弟子 ☆☆☆☆☆	筆者の立場が、客観的というよりは「何も知らない一般人の主観」みたいなところから、覗き込んでいるように書いてあるので非常に読みやすかった。これだけの取材をしているのだからおそらく内容については多くのことを知っているはずなのに、それでも極力わかりにくい単語を排除して読みやすく、おそらく一般的な中学生か、早熟な小学生であれば簡単に理解できるような文章で、読み手をあきさせないように常に意識された文章の運び方がなされていて、読んでいて負担にならなかった。 内容もまた秀逸。どの章でも個性豊かな発明、商売、人柄が書かれていて飽きないが、私が特に目がいったのは最後のページ。どうしてもこの手を主題とする本は、必ずといっていいほどサクセスストーリーになってしまうのだが、エピローグの最後に筆者は『役に立たない老舗はつぶれる』と、最後の最後で堂々と書かれていたので、正論でありながらもその文章のもつインパクトに私は驚いた。			
	all	214P (90分)	最後の最後	2008/12/17 12:51:20

うみねこ ☆☆☆	日本は外国と比べて老舗企業がやたら多いことに驚いた。 日本古来の企業の技術力や会社組織のすごさについて書いているようだが、老舗企業ということを除けば海外にもすごい企業なんてたくさんあるのではないかと思った。若干日本の会社を礼讃しすぎている気がする。			
	1-79、193-239	127P (80分)		2008/12/06 02:20:48

kabadie ☆☆☆☆	とにかくイントロダクションのうまさが際立つ。 「身近なものから攻める」というイントロダクションの王道中の王道でありながら、すっと入りこめる。			
	13-239	226P (180分)	13-15	2008/11/26 00:43:56

heat-active ☆☆☆☆☆	「へえ～」を読み進めていくうち連発し、老舗企業の社長が言っている名言？の数々（例えば、林原健さんの言う「発明や発見は異なる知識と経験をたくさん持つこと」）などにも本当に心を打たれた。いろんな知識も得られたり、就職先の候補にしたくなる会社もあるのでその点でオススメできる。 まだまだ日本の企業も捨てたもんじゃないと思った。			
	13-239ページ	214P (200分)	どこでも（あえて絞り込むならプロローグ）	2008/11/02 11:53:18

ＴＯＰへ

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2008年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISDN	978-4480424280
コメント	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。 実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。 朝青龍がどうして品格がなくても平気でいられるのか、も分かります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
uk ☆☆☆☆	相撲界の話題が上ったのでこの本をとってみようと思った。 相撲界には相撲界のルールがある。「郷に入っては郷に従え」だな。			
	1-117	117P (70分)		2009/02/19 23:00:26
反社会性人格者 ☆☆☆☆☆	最近話題になった相撲界がテーマなので、興味を抱く人も多い筈。 個人的に年寄株について前から良く分からないと思っていたので、３章を中心に読んだ。 力士の給料が何故低いのか、やっと納得できたように感じる。			
	57-94、131-147	55P (15分)	３章	2009/02/19 13:58:13
kazuki ☆☆☆	面白いが相撲に多少興味がないとつらいかも。			
	1-53	50P (30分)		2009/02/16 14:34:40
evolv ☆☆☆☆☆	すでに相撲の騒動がだいぶ鎮まった頃にこの本を読んだ。 これはただの相撲の本でもなく、ただの経済学ではない。 相撲と日本の歴史との関係を繋いでいるような本だった。 一人のスポーツが好きな若者としても楽しめ、 相撲が好きな若者としても楽しめ、 経済学が好きな若者としても楽しめる本だった。			
	1-94，111-131，147-167，178	137P (120分)	111-131	2009/02/14 02:04:27
!? ☆☆	正直微妙で、途中から流し読みしてしまいました。			
	21-109	89P (60分)		2009/01/28 11:18:18
DNA ☆☆☆	途中で投げました。			
	1-10	10P (3分)	10	2009/01/27 15:28:06
funza ☆☆☆☆☆	知っている話が多く、めんどくさくて読めなかった。 みんなのコメント見て、もう一回読んでみようかな・・って思った。			
	1－50	50P (40分)		2009/01/27 12:32:55

上場亮 ☆☆☆☆☆	最近何かと話題の大相撲にもこんな視点の捉え方があったのかと思い、面白く読めた。			
	1-273	273P (240分)		2009/01/26 21:42:01
継承者 ☆☆☆☆	相撲の世界のことが理解できる。八百長について、理解できてしまうかも？			
	1-98	98P (30分)		2009/01/24 00:05:07
ザルカヴァ ☆☆☆	八百長の話のところは、成立条件とかが面白かった。関取になることにより、給料が少なくても腹一杯食べられるという魅力は、現代の日本人には確かに通じないだろうな。			
	111-130,147-180	54P (35分)		2009/01/23 12:14:29
前田 ☆☆☆☆	タイトルに惹かれて読んでみたがなかなか読みやすく面白かった 相撲に関して結構知識が増えたし相撲に対して経済という切り口でアプローチするやり方も新鮮で面白かった			
	1-221	221P (150分)	21-38	2009/01/22 11:10:17
kabadie ☆☆☆☆☆	大相撲というある種閉じられた世界の中のことが奇妙な視点から見えた。			
	1-237	237P (240分)	167-180	2009/01/21 01:06:50
heat-active ☆☆☆☆	角界を一種の会社に見立てていて非常におもしろかった。この本を読むとなぜ角界が現在の体制を維持しているかがよくわかる。			
	15-92	78P (20分)	第４章	2009/01/18 14:03:13
david wright ☆☆☆☆	スモウレスラーになるのはあきらめた			
	1-237	237P (120分)		2008/12/28 18:22:49
monkiti ☆☆☆☆	野球やサッカーとは違う。 勝ち負けだけじゃない。 ただのスポーツではなくて伝統が大事なのです。 そんな相撲を、相撲協会はひとつの会社である、として。 経済的な観点から捉えているところが面白かった。			
	1-212	212P (90分)		2008/12/19 17:02:38
ミニブタぽん ☆☆☆☆	八百長をするのは悪いことではないのかも。 八百長の原因も対策も合理的って面白い。			
	1－134	134P (180分)		2008/12/16 10:19:37
☆ ☆☆☆☆	八百長問題で揺れている相撲界ですが、その八百長についての記述があったので読んでみました。 生活様式にしても給料の制度にしてもやはり世の中の常識と違うと感じたのでやはり相撲界は異質な世界だと思いました。 八百長に関しても本を読んだ限り、自分が力士だとしてもするんじゃないかと思いました。			
	1-165ページ	165P (120分)	目次	2008/11/30 23:37:09
弟子 ☆☆☆	「合理的」という言葉が非常に似合わなく感じました。			
	147-222	76P (20分)	10章	2008/11/25 02:39:54
ketume ☆☆☆	力士の一日の生活を初めて知りました。力士の体脂肪率って意外に…。			
	71-72 75-94 111-128	40P (15分)	71-72	2008/11/16 23:50:13
Ian ☆☆☆☆	意外と知らない大相撲の仕組みがわかり、それは色々批判されているけど経済学の観点から見ると合理的だということがわかった。			
	1-251	251P (180分)		2008/11/16 22:52:33
ri-si- ☆☆☆☆	合理的であるとは思いました。が、やはりどのスポーツでも一流の人以外は引退した後が大変だと思いました。 日本で最もおおきな格差社会はスポーツ界なのでは！？			
	1-165	165P (70分)		2008/11/13 12:47:38
kate ☆☆☆	八百長も角界のシステムを知ればある程度仕方のない事だと思えた			
	1-98	98P (40分)		2008/11/10 16:42:15
世界のニシテツ ☆☆☆☆	今何かと話題の大相撲に経済学の観点から迫ります。八百長の仕組みを数式を使ってあくまで論理的に解いているのが印象的でした。			
	15-38,75-130,233-254	100P (110分)	111-130	2008/11/04 16:49:44

chor ☆☆☆☆	どんな組織でも長く続くには合理的な理由があるわけです			
	1-136	136P (70分)		2008/10/31 23:00:47

非食用もやし ☆☆☆☆☆	傍目でみると非論理的に見える相撲協会だが実はとっても論理的。 そんな中での関取の生活も論理的。 三食昼寝付きというなんとも理想的な生活を送ってるそうです。			
	1-136	136P (120分)		2008/10/31 21:41:55

&DO ☆☆☆☆	力士の給与システムは秀逸だと思った。 普通に角界について詳しくなれる			
	39-56,75-130,167-251	160P (150分)	39-56	2008/10/28 01:36:46

TAK ☆☆☆☆	大相撲の経済学、とありますが経済学について触れているところは読むのが面倒でした。 それよりも角界の事情がいろいろと分かりやすく説明されているところが読んでいて楽しかったです。 がんばれ日本人力士。			
	21-56,75-130,147-222	168P (240分)	75-94	2008/10/28 00:34:02

joker ☆☆☆☆	ひとのために生まれたシステムが、神格化している例。 もし、現在のような問題が起こる原因がこうやって見えた相撲界の構造にもあるのだとすれば、どうやって変えていけばいいのか。そんなことを考えてみるのも面白い。			
	1-237	237P (90分)		2008/10/23 12:36:11

マシュ ☆☆☆☆	あまりなじみのない大相撲の世界の仕組みも実はとても理にかなっていて、実際の社会と同じように説明出来ることが分かった。 また、八百長をするインセンティブについてや力士の引退後のことも考えた給料の仕組みなどもなるほどと思った。			
	15-251	237P (200分)		2008/10/19 12:23:25

自由教育 ☆☆☆	八百長を数学を用いて分析。論理的で少し変わった角度から相撲を考えることができます。			
	21-38、75-130、167-180ページ	88P (60分)		2008/10/15 23:27:40

TOPへ

世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか

著者名	岡田芳郎	発行年	2008年
出版社名	講談社	ページ数	262ページ
値段	1,785円	ISDN	978-4062143608
コメント	長い長いタイトルで埋め尽くされた表紙。なんとまあ、人を食った。 いえ、これはひとさまにお料理を召し上がっていただくことに生涯を賭けた男の物語。 そして、押さえどころは、これはサクセス・ストーリーではないこと。だからいっそう胸にしみる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	佐藤久一という名前と、グリーンハウス、レストラン欅、ル ポットフーを作った人としか、恥ずかしながら知らなかったのだが、この本を読んで、非常に詳しく「佐藤久一」という人物について知る事が出来、如何に地元酒田の文化レベルを上げる事、多くの人に幸せを与える仕事に情熱を傾けたのかがよく分かった。 構成も時系列になっている為、そのまま素直に読む事が出来、あっという間に読み進める事が出来た。こういった本があると、地元酒田市民として後世に語り継いで行く事が出来る。			
	全部	262P (200分)		2009/02/20 20:45:31
たくや ☆☆☆	下に同じです。かなり惹かれる内容でないと読まないみたいです			
	最初	3P (5分)		2009/02/20 11:56:44
takuto ☆☆☆	借りたままほぼ読まずに返却してしまいました。 また借りて読んでみたいです。			
	１－３０	30P (10分)		2009/02/19 10:53:06
世界のニシテツ ☆☆☆	正直期待したほどは面白い内容ではなかった。しかし、仕事への情熱には心打たれるものがあった。			
	1-105	105P (85分)		2009/02/18 09:05:30
前田 ☆☆☆	佐藤さんがどのように生きてきたかという物語 こんな風に趣味のように仕事ができたらさぞ楽しい人生だろうなと思った この人の料理館には共感できる部分がありおもしろかった 大人になったらさまざまな地域のおいしい料理を楽しみたい			
	53-255	202P (60分)		2009/02/18 00:55:11
ベル ☆☆	地元が近かったので手に取ってみました。 でもあんまりすすまなかった。 自分は最初から読むべきではなかったのかもしれません。			
	1-70?	70P (60分)		2009/02/17 11:10:41
ヒトラー ☆☆	タイトルに惹かれよんで見ようかと思ったけど、正直微妙でした。 はじめの写真の料理にむしろ惹かれました。			
	1-47	47P (20分)		2009/02/15 22:02:33

yatta ☆	プロローグと最初の数ページしか読まなかった。まぁあんましこの先読み進めていこうという気がいまいち起きなかったですね。			
	2-24	23P (18分)	2-8	2009/02/12 12:39:10

evolv ☆☆	評価が高くて驚いた。ことごとくおもしろくないところを読んだのか？意外に啓発本をたくさんよむ私としては、成功者の本としてはインパクトが薄くあまりそのように読むことができなかった。 それよりも、日本一のフランス料理が広まっていった日本の食文化の歴史のほうが楽しかった本である。これは読む人によって、読み方が変わる本かも知れない。			
	1-52、92-104，141-147	72P (60分)	おまかせでお願いします	2009/01/26 02:23:49

david wright ☆☆☆	名前が山形の酒田南高っぽい			
	1-263	263P (120分)		2008/11/24 13:26:46

弟子 ☆☆☆☆☆	サクセスストーリーではないということで、サクセスしている部分だけを読んでみました。 ハレとケでいうのであればフランス料理は間違いなくハレであろう。祭りなどと同じ非日常を期待するものである。だからこそ最高のハレを演出するのに職人は魂をかける。そんな職人のお話。			
	157-214	58P (20分)		2008/11/07 12:22:51

マシュ ☆☆☆☆☆	描かれている人物の仕事に対する情熱が読んでいてとても伝わってきた。ただ、自分と長所や短所を補い合っている相性の良い人と一緒に仕事をすることがとても大事だと思った。			
	2-263	262P (210分)		2008/10/19 12:28:32

ＴＯＰへ

- 図書一覧 書籍紹介 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

湿地転生の記　風景学の挑戦

著者名	中村良夫	発行年	2007年
出版社名	岩波書店	ページ数	248ページ
値段	2,500円	ISDN	978-4000234320
コメント	「都市のこの記憶喪失ぶりはほとんど狂気といえる」――現状への憤懣をぶつけつつ、おのが実践の足跡を熱く語る。風景学の先駆者にして社会工学科の大先輩の言、心して聞くべし。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆	期限が迫っていてはじめだけ読みました！ 時間なかったのでこれからゆっくり読んで勉強します！			
	1-32	32P (10分)		2009/02/20 10:35:07
ベル ☆☆☆☆☆	表紙からして難しそうでよみ続けるか迷った。 言葉使いが他と一線を画していて新鮮な感覚になってからは、興味ある内容であることも手伝ってどんどんよめた。 五章とその近傍には著者と東大生のやり取りが描かれていて非常に刺激的だった。			
	1-252	252P (420分)	５章	2009/02/17 10:57:38
joker ☆☆☆	景観について書いているが、とても社工的。あるものに対してそれぞれの「とらえ方」といった要素がからんでくることをどうしていくか。 テーマには非常に共感。			
	1-248	248P (80分)		2009/02/16 13:28:32
ヒトラー ☆	すぐ飽きてしまった、元気があればもう少し読みたかったです。			
	1-32	32P (20分)		2009/02/16 09:31:52
弟子 ☆☆☆	「設計者の思い通りに公園を使えと、どうしていえるでしょうか。」本書178ページより この一文は、空間をデザインする者にとっては大きなジレンマではないだろうか。何か完成された空間を用意しても、利用者はそれをその通りに利用してくれるとは限らない。利用者にとって好ましい空間を提供する者は時に、利用者に裏切られてしまうこともありうるのだなと、はたと感じた。そのことに気づきながら、上記のように言ってのける筆者の懐の深さに感心した。			
	1-7,33-68,155-206	95P (30分)	5章前半	2009/02/10 16:22:48

ＴＯＰへ

そうだ、葉っぱを売ろう! ー過疎の町、どん底からの再生

著者名	横石 知二	発行年	2007年
出版社名	ソフトバンククリエイティブ	ページ数	199ページ
値段	1,575円	ISDN	978-4797340655
コメント	徳島県上勝町（かみかつちょう）。料理に添える葉っぱビジネスで、今やマスコミの注目の的。 どん底から試行錯誤で、ついに頂点へ。ちょっと気恥ずかしくなるくらいに、絵に描いたようなサクセス・ストーリー。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	著者の無欲な一生懸命さ、おばあちゃん達の頑張りに心を打たれます。 人のつながり「絆」というものの暖かさと強さを感じました。 落込んで元気がない人、前向きになりたい人にオススメです。 また、政治家、行政に携わっている人、企業家は必読でしょう。 人への思いやりが人を元気にしてイキイキと暮らすことにつながり、 イキイキと暮らすことが故郷を大切にして環境を守ることにつながって、 山奥の村全体を元気にすると教えてくれます。			
	全部	199P (200分)		2009/02/20 20:57:06
takuto ☆☆☆	発想力はすごいと思った。 それに読んでて楽しかった。本が嫌いな自分には相性の良い作品だったかも。			
	１－１２０	120P (100分)		2009/02/19 10:47:19
heat-active ☆☆☆☆☆	葉っぱを売ろうというきっかけは飲食店でのちょっとした出来事からであり、そこから幾度もの失敗と成功を積み重ねて成長していく様に思わず読み入ってしまった。偉人はこうしてできあがるのだという具体的な例を見ることができた。			
	12-127ページ	116P (27分)	第２章	2009/02/05 15:04:38
世界のニシテツ ☆☆☆☆	前にこの村の話を聞いたことがあったので、思い出すみたいな形になった。			
	1－88	88P (50分)		2009/01/31 23:43:45
ap ☆☆☆☆	農協の青年の発想もだけど、働かない農村の人を動かした努力がすごいと思った。			
	12-210	198P (30分)	158-160	2009/01/29 14:55:00
sweets ☆☆☆	途中でやめてしまった。 報道ステーションかなにかで特集を見たことがあった。			
	1-70	70P (30分)		2009/01/27 15:40:37
snsk ☆☆☆	既に何回かテレビのドキュメント番組で見たので、特に新しい情報は得られなかった。			
	1-210	210P (60分)		2008/11/25 09:51:36
monkiti ☆☆☆☆	仕組みじゃなくて気持ちが大事っていうのは同感だと思った。			
	60-189	130P (50分)		2008/11/13 11:09:00

弟子 ☆☆	同下。 「困難」→「思考」→「立案」→「非難」→「試行」→「努力」→「成功」→「方針」 小学生向けの作文のお手本のような本。文章自体は読みやすいんでページ数を稼ぎたい人向けかも。			
	35-215	181P (30分)	158-	2008/11/11 12:41:33

DNA ☆☆☆	展開が見えて、ありふれていたからあんまお勧めできないです。			
	1-250	250P (250分)		2008/10/22 04:46:49

ＴＯＰへ

吐?喇（とから）列島

著者名	斎藤　潤	発行年	2008年
出版社名	光文社新書	ページ数	264ページ
値段	860円	ISDN	978-4-334-036468-9
コメント	トカラ。沖縄と九州のあいだ。 ボゼが棲んでます。真っ赤なお面にウサミミの。 じゃがじま（臥蛇島）とか、こじゃがじま（小臥蛇島）とか、宝島とか、小宝島とか、あります。 そんな観光気分だけでは済まない苦労が山ほどあるに違いない「日本でいちばん細長い村」だけれど、そこは旅人さんのお人柄、岩場の湯溜まりにとっぷり漬かって、トビウオの魚醤づくりに没頭する新住民の身の上話など、なごやかに聞き出してきてくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
弟子 ☆☆☆☆	筆者のトカラ列島好き好きっぷりが半端ない。 夢想新聞でおなかいっぱいです。 島を訪れたいとは思ったが、観光客にはなりたくないと思った。だってきっとここはそういう場所ではないはずだから。			
	all	264P (80分)	一島一国	2009/01/27 12:50:59
クマー ☆☆☆☆☆	最近ニュースで日本で皆既日食が見れる島の話が出てくるが、本書はそこらへんの島々の話らしい。 開いてすぐにある写真がいい。日本にこんな島々があるとは知らなかった。ぜひ一度行ってみたい。			
	1-268	20P (5分)	257-266	2009/01/14 18:32:32
joker ☆☆☆☆	よし、行ってみよう。			
	1-264	264P (90分)		2008/10/21 13:12:28
chor ☆☆☆☆☆	こんな島に行ってみたい！と思わせる観光ガイド。 住民の方の声や食事の献立がうれしいです。			
	1-264	264P (140分)		2008/10/19 22:09:24
heat-active ☆☆☆	「なにかあっても宝島へ戻ってくれば、生きていける。（以降省略）」この松下セツ子さんの言葉は本当に島への愛着があるからこそ出てくるのでしょう。その他にも島の風景や住民をとおして、観光案内をしている本。 ちなみにこの本を買った時のレシートのジャンルは「文庫」ではなく「ガイド」だった。旅行好きの方は是非どうぞ。			
	1-264ページ	264P (340分)	245ページ	2008/10/18 01:16:49

TOPへ

ペンギン夫婦がつくった石垣島ラー油のはなし

著者名	辺銀愛理	発行年	2008年
出版社名	マガジンハウス	ページ数	117ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4-8387-1900-6
コメント	あいあむ、ぺんぎん。本名です。ほんとですってば。 ぺんぎんなのに、南の島に住んでます。 そこで、あぶら、売ってます。ほんとですってば。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆☆	ペンギンさんのラー油への思いが素敵。 食べたくなりました。沖縄行きたい。			
	全部	117P (90分)		2009/02/20 10:27:49
uk ☆☆☆☆	この本を読むと沖縄に行きたくなるのとラー油の香りがイメージされます。 春休みに沖縄にいってこようかな。			
	1-117	117P (100分)		2009/02/19 23:06:24
反社会性人格者 ☆☆☆	作者の行動力には感服するばかりである。 純粋に何かに打ち込むという事が重要だとわかる一冊。			
	1-117	117P (60分)	３章	2009/02/19 12:42:19
TAK ☆☆☆	失礼ながら表紙読みです。			
	1	1P (1分)		2009/02/16 18:57:38
BLOWIN' ☆☆☆	この石垣島ラー油。今話題沸騰中とのこと。 ラー油だけど辛すぎないってとこがウリみたいですね。			
	1-117	117P (120分)		2009/02/15 20:09:57
弟子 ☆☆☆☆☆	ああ、おなかがすいてきた。			
	all	110P (40分)	最後の最後	2009/02/09 17:14:44
ap ☆☆☆☆	温かい本でした。 辺銀さん夫婦の生活とか考え方が、いいなぁと思いました。 最初と最後の料理の写真がすごく美味しそうでした。			
	1-135ページ	135P (120分)		2008/12/08 20:14:25
david wright ☆☆☆	沖縄だった			
	1-20	20P (5分)		2008/12/07 11:27:11

かける ☆☆☆	夫婦で作ってます、という形式がMAKING TRUCKと言う本に似ている。 知らない世界をかいま見るのは、楽しくも悔しくもある。			
	?	50P (30分)		2008/11/27 12:27:50

ミニブタぽん ☆☆☆☆	沖縄のおじいちゃんおばあちゃんたちとペンギンさんの関わり合いは、読んでいて温かい気持ちになれます。 石ラーが大ヒット商品になっても生産性やお金儲けに走らず、手作りを貫いているペンギン夫婦には感心。 石ラー食べたいなぁ。			
	1-135	135P (120分)	ペンギンからの手紙	2008/11/26 20:49:26

マシュ ☆☆☆☆	自分の趣味や楽しみでやっていたことが世間に認められ大人気商品になるのはすごいと思った。 石垣島の濃い人間関係ってなんかいいなぁと思いました。			
	全部	117P (60分)		2008/11/11 23:13:41

世界のニシテツ ☆☆☆☆	沖縄の人々の暖かさに触れるとなんだかほっとします。そして今話題の石垣島ラー油を食べたくなります。			
	第１章、第３～５章	110P (150分)	第５章	2008/11/04 16:45:59

ベル ☆☆☆☆	どんどん読めちゃいます。読みやすいです。 著者の石垣島での暮らしぶりに、心が和みます。 沖縄行ったことあるとさらに面白いんだろうなと思いました。			
	1-135	135P (200分)		2008/10/19 23:17:46

ＴＯＰへ

しゃばけ

著者名	畠中　恵	発行年	2004年
出版社名	新潮文庫	ページ数	331ページ
値段	514円	ISDN	978-4-10-146121-2
コメント	若だんなが通りますよー。 なよなよっと病弱だから、妖怪のお友達がぞろ～りぞろ～り付いてくるんです。あてになりそな、ならなそな。さてさて、花のお江戸を震わせた連続殺人事件の解決、首尾良くできるでしょうか。 へっぴり腰で、ちっとも恰好よくないところが、ほっこり、いいね。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆☆	皆様仰ってる通り、時代物でミステリーでファンタジー。 一言、読みやすいです。 文章はもちろん、ストーリーもわかりやすく、登場人物（？）たちの設定もはっきりと描き分けてるのが好印象。 彼らの姿かたちや、ワンシーン、ワンシーンを頭に描きやすいことなどを思うと、「漫画家出身」だという作者さんの背景になんとなく納得。 私の場合、物語を読むとき、作品世界に没頭できるまでは同じところを何度も読み返したり、読書ペースが一向に上がらないというのが常なのですが、この作品はすごく楽に読み進められました。			
	全部	331P (250分)		2009/02/20 20:32:33
ketume ☆	すぐ飽きてしまいました。			
	5-27	23P (10分)		2009/02/19 12:29:13
BLOWIN' ☆☆☆☆	小説。とはいっても、舞台は江戸。山室先生のお好きな江戸の小話でございます。 少し文化に触れることができますね。			
	1-342ページ	342P (180分)	336-342ページ	2009/02/13 00:06:16
世界のニシテツ ☆☆☆☆	ドラマ化されている作品で、考えずに読めて面白かった。			
	1-250	250P (300分)		2009/02/12 13:30:00
monkiti ☆☆	なにも考えることなく本が読めてよかった。たまには、こういうのもいいかもしれない。			
	1-300	300P (70分)		2009/02/08 03:16:56
下阪神 ☆☆☆☆	実写化されただけあってさすが原作！という感じでした。 夜一人で部屋で読むのは怖かったけど			
	全部	330P (200分)		2009/02/04 12:40:22
sweets ☆☆	小説。 講義開始前に読書済み。 私はあまり好みではない。			
	all	331P (120分)		2009/01/27 15:20:04

david wright
☆☆☆☆☆

おばけがこわかった

1-10,50-128	89P (5000分)		2009/01/18 12:26:01

ザルカヴァ
☆☆☆☆☆

個性豊かな登場人物と、すじのしっかりしたストーリー、リアルな時代背景と読みやすい要素のそろった作品。魅力的で、引き込まれると最後まで一気に読みたくなる。

全部	331P (260分)		2009/01/13 12:54:24

heat-active
☆☆☆☆

こんなことあり得ないとわかっていても一気に読んでしまった。人間と妖怪が一緒に行動している場面に思わず笑ってしまう新しい視点から書いた本だと思う。

5-335	331P (60分)		2009/01/05 00:43:22

弟子
☆☆☆

つまらなくなさそうだったからやめなかった
･･･（確かにこの本ははじめ十数ページが鬼門かもしれない

ミステリとしては多分二流もいいところ。最後の謎解きのところなんか、きっと現代では通用しないような荒業ですし。でもそんな都合主義なところが、どことなく江戸のような気がしてしまって納得してしまった。なんというか、素っ頓狂なアドリブ劇を見ていたようで、臨場感があった気がする。
気になったのは服装の話。シャーロック･ホームズの時代からミステリでは服装が職業を表すものであったのに、いつの間に消えてしまったのかと思いました。

all	331P (100分)		2008/12/15 10:45:40

☆
☆☆

実写化されていることも知っていて興味を持って読み始めてみましたが、お化けの絵がないのはやはり退屈に感じ、また、現在とは生活様式違ってイメージが湧きづらく、ハマれませんでした。

1-87	87P (60分)		2008/11/30 23:39:29

snsk
☆☆☆

時間がなくて最後の解決するところまで読めず、殺人事件が次々と起こっているところで終わってしまったので残念。
会話文が多かったので読みやすかった。

1-138	138P (60分)		2008/11/18 14:49:18

宅急便
☆☆☆☆☆

この時代のことをきちんと調べたうえで書いているであろうことが伝わってくる。
テンポがよく、面白い良作。
ものすごく甘やかされているのにしっかり芯を持っている若旦那が魅力的です。

気にいった人は是非続刊も読んでほしい。
長編も短編もそれぞれに面白いです。

1-342	342P (180分)		2008/11/15 09:17:13

ミニブタぽん
☆☆☆☆☆

様々な謎が一気に解けていく最後の部分は非常に快かった。
登場人物それぞれがとても個性的で楽しい。
立ち読みポイントのページは私が1番切なくなったところ。
自分が生まれた家の身分が高くても低くても、自分の境遇が原因で起こるどうしようもないことがあって、登場人物それぞれが悩むシーン。

1-342	342P (240分)	153-168	2008/11/09 22:25:19

ap
☆☆☆☆☆

ドラマ化までした小説だけあって、普通に面白かったです。
立ち読みポイントは、立ち読みすべきとこではない気もしますが、謎がとける場面で、面白かったです。

1-335ページ	335P (180分)	275-290ページ	2008/10/23 21:09:11

ＴＯＰへ

有頂天家族

著者名	森見登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎	ページ数	353ページ
値段	1,500円	ISDN	978-4-344-01384-1
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼッタイ狸を選びたくなる。狸になって偽叡電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむるところだ」って呵々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆☆	洛中を舞台に、天狗、人間、そして狸の眷属が三つ巴、縦横無尽の大活劇を魅せてくれる面白小説。 往年の天狗力、今いずこの赤玉先生。半人間、半天狗の美女・弁天。四匹よれば、時には百人力の狸魂を発揮する下鴨（しもがも）四兄弟。下鴨ファミリーとは宿命の抗争を繰り返す夷川（えびすがわ）ファミリーの金閣、銀閣の兄弟。などなど、登場するキャラクターたちの、のほほんとした言動と化かし合いが、なんとも飄々としていて痛快。楽しかったです。			
	全部	353P (250分)		2009/02/20 20:37:59
heat-active ☆☆☆☆	人間の世界に狸や天狗が入り乱れて繰り広げられる物語という奇抜さであり、もっと読みたかったのだが時間の都合上、途中で切り上げた。			
	10-69	60P (30分)		2009/02/20 09:40:21
鍋工房 ☆☆☆☆	毛玉とは、なんと愛くるしい表現でしょう。 その呼称を見つけた時点でニヤニヤせずには読めなくなりました。 機会があればもふもふしてみたいものです。			
	全部	353P (300分)		2009/02/20 07:06:59
ベル ☆☆☆☆	京都に行ってみたい。そのあとまた読んでみたい。 ただ単に、おもしろい。			
	1-357	357P (300分)		2009/02/20 02:09:55
so ☆☆☆	狸と天狗と人間っていう今まで読んだことのない意外な設定は面白かった。テスト期間中放置していたら内容忘れてしまった。			
	1-54	54P (60分)		2009/02/10 13:28:54
besevener ☆☆☆☆	面白かった。			
	1-121	121P (100分)		2009/02/09 08:09:55
たくや ☆☆☆☆	設定やら文体やら色々変わったところが多く、とっつきにくいかもわかりませんが、世界感に入り込めたらとても面白いのではないかと思います。 ストーリーうんぬんよりも、狸と天狗と人間のやりとりが楽しいです。テーマはなんだろう、家族愛？？ 現代を舞台にした和製ファンタジー小説は初めて読んだのでとても新鮮でした。			

	1－353	353P (140分)	とりあえず冒頭	2009/02/06 13:14:15

funza ☆☆☆☆☆	森見登美彦の世界は一回はまると抜け出せない！ 彼の処女作『太陽の塔』を先に読むと、より一層この作家の世界観を楽しめると思う。 今、自分一押しの作家です。			
	1－353	353P (120分)		2009/01/20 12:40:03

弟子 ☆☆☆	京都の地名がわんさか出てくるので、いまいち場所や情景の把握が難しいところがあったりする。きっと京都にいったことのある方や京都の地理に深い方はものすごく合点がいったであろうが、あいにく私は京都の地理には疎くいまいちであった。京都に行く機会があれば思い出してみよう。			
	10-86	77P (30分)		2009/01/19 01:54:30

ap ☆☆☆☆	最初、読みづらい文だと思ったけど、変わった設定でストーリーも面白かった。			
	1-353ページ	353P (240分)		2008/12/08 20:16:48

ザルカヴァ ☆☆☆☆☆	出てくるキャラクターそれぞれに魅力があり、作品のストーリーも奇抜でおもしろかった。			
	全部	353P (250分)		2008/11/10 19:59:04

david wright ☆☆☆	奇妙な話だった			
	1-353	353P (180分)		2008/11/02 23:49:22

!? ☆☆☆☆	主人公のキャラクターがよかった。俺も空とんでみたい。			
	全部	353P (120分)		2008/10/17 16:15:19

ＴＯＰへ

- 図書一覧 書籍紹介 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

チェーザレ 1～5

著者名	惣領冬実	発行年	2006年
出版社名	講談社	ページ数	100ページ
値段	3,715円	ISDN	4-06-372201-5
コメント	チェーザレ・ボルジア。500年前のイタリアに現れた、とてつもなく規格はずれの風雲児。その若き日々。ピサの町を舞台に暴れまわる凛々しさにほれぼれ。 ＢＬ？　と、と、と、とんでもない！ 　全ラインナップで唯一のコミック版です。コミックなので、全ページ読んでも、100ページまでしかカウントしないというルールで宜しく。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆☆	美術史の授業にも登場していて興味があったのでかなり楽しめた。 続きが読みたいです。			
	1-5全部	100P (150分)		2009/02/20 10:30:07
弟子 ☆☆☆	「漫画でしかできないこと」が無い気がする。 コレだったら文章となんら代わりは無いのでは。せっかく漫画という形になっているのだから、漫画でしかできないようなアトラクションを入れて欲しかった。			
	一巻	100P (10分)		2009/02/20 06:14:53
chicken-run ☆☆	絵は人によってかなり好き嫌いの分かれる画風だと思う。ちなみに私はあまり好きになれなかった。 マンガなのでアッサリ読めてしまった。			
	一巻	100P (20分)		2009/02/19 12:42:14
ketume ☆☆☆	二巻が読みたかった。			
	一巻	100P (20分)		2009/02/19 12:12:52
takuto ☆☆	スラスラ読めたが内容はいまいちだった。			
	１－１００	100P (20分)		2009/02/19 10:38:41
かける ☆☆☆	どの程度までリアルに描写しているのか気になる。			
	１巻・２巻	100P (60分)		2009/02/18 20:14:03
heat-active ☆☆☆☆	マンガなのでとても親しみやすい。本当に楽しむのなら登場人物の略歴などを調べるとさらに良い。			
	３巻すべて	100P (16分)	どこでも	2009/02/17 17:12:45
ベル ☆☆☆☆☆	美術史とセットでとってると知ってる人がいっぱい出てきて興味深いまま最後まで読めると思います。			
	1-100	100P (300分)	最初から	2009/02/17 10:50:29

kazuki ☆☆☆	なんとなく気になって読んでしまったが、絵が生理的に気に入らなかったです。			
	1-5巻	100P (300分)		2009/02/13 01:31:41

yatta ☆☆☆	中途半端な場所から読み始めたので、最初のうちはなにがなんだかわからなかったが、読み進めていくうちに宗教での対立という構造はつかめた。周りを海に囲まれた国では宗教の対立というのは考えにくい。非キリスト教徒のミゲルの言葉「仮に新天地を見つけたとしても自由が手に入るとは限らない・・・」の部分は、読んでて思わずうなずいてしまい、宗教の対立について考えさせられた。			
	３巻	100P (20分)	122	2009/02/12 12:13:13

＆ＤＯ ☆☆☆☆	漫画だとすらすら読める			
	１巻	100P (30分)		2009/02/10 06:59:48

ri-si- ☆☆☆☆	マンガなので脚色が多いしまだ完結していないって・・・この授業の趣旨とは違うんじゃないかって思いました。			
	all	100P (60分)		2009/02/09 10:33:15

besevener ☆☆☆☆	とりあえずって感じで読んだが、面白かった。			
	1-4巻	100P (180分)		2009/02/09 08:02:02

chor ☆☆☆☆☆	漫画ということを抜きにしてもおもしろい			
	1～５巻	100P (200分)	全部	2009/02/06 21:38:13

sweets ☆☆☆	漫画はやはり読みやすい。			
	一巻	100P (40分)		2009/01/27 15:45:18

kate ☆☆☆☆☆	漫画で読みやすかった。春休みに全部読んでみたい			
	1-100	100P (60分)		2009/01/27 14:57:56

非食用もやし ☆☆☆☆☆	この著者の人生と性格が非常におもしろい。			
	一巻	100P (30分)		2009/01/26 21:16:36

前田 ☆☆☆☆☆	ちょうど美術史の授業を取っていたこともありとても参考になった 当時の生活様式など実際マンガで読んだほうがわかりやすくとても勉強になるマンガだった			
	1-100	100P (50分)	1-100	2009/01/22 11:13:36

ミニブタぽん ☆☆☆☆☆	漫画なのでわかりやすかった。テストが終わった頃に２～５巻も読みたい。			
	1巻	100P (60分)		2009/01/13 15:17:25

ap ☆☆☆☆	家同士の関係を理解するのに手間取ったけど、やっぱりマンガなんで断然読みやすかったです。 内容も結構面白くて、続きが読みたくなりました。			
	１，２巻	100P (30分)		2008/12/08 20:19:29

☆ ☆☆☆☆	マンガということで飛びついたわけですが、マンガの中でも面白い部類に入ると思います。読んだ部分は大学が舞台でしたが、あのくらい高い意識を持った大学生でありたいとも思いました。			
	１巻	100P (25分)		2008/11/30 23:41:39

snsk ☆☆☆☆	チェーザレかっこいい・・・！ 文字で埋め尽くされていたらきっと読む気にならなそうなものも、漫画だとすらすら読めたので良かった。 主人公は怖いもの知らずだな～ ２巻早く読みたいです			
	1巻	100P (30分)		2008/11/25 20:38:14

forex ☆☆☆☆	自分はチャーザレ・ボルジアという人物はこの作品で初めて知ったが、事前の知識が無くても作品の随所に説明が挟まれていたので当時の背景も含めて気兼ねなく読めた。 途中で世界史の知識がない自分でも知っているような偉人、レオナルド・ダ・ヴィンチが物語りに絡んできて面白かった。 マンガなので読みやすいところも良かった。			
	1巻、2巻、4巻	100P (120分)	全部	2008/11/24 23:11:53

たくや ☆☆☆☆	中世だとかルネッサンスだとかに興味がわきました 早く続きが読みたい			
	1巻	100P (50分)		2008/11/14 13:43:47

monkiti	２巻以降がきになるなーっと

☆☆☆☆	１巻	100P (20分)	一巻丸々	2008/11/04 09:57:22

Ian ☆☆☆☆	イタリアの宗教について少し理解した。			
	1巻	100P (30分)		2008/10/27 23:57:01

uk ☆☆☆☆	当時のイタリアの歴史を学べつつ、ユーモアをところどころに含んでいて飽きさせない作品。 ５巻は物語の途中なので先が気になる…			
	1-5巻	100P (180分)	4巻？闘牛士	2008/10/21 12:34:42

マシュ ☆☆☆☆	イタリアの文化や歴史に少し興味がわいた。			
	1巻	100P (30分)		2008/10/19 12:00:53

david wright ☆☆☆☆	キリスト教がわかった			
	２巻	100P (30分)		2008/10/17 17:49:40

宅急便 ☆☆☆☆☆	史実に基づく登場人物たちの動向や台詞もさることながら、絵を見るだけでも当時のイタリアの様子を相当しっかりと調べているのだろうと感じられる大変読み応えのある良作。 一種の伝記なのだが、それでいて漫画的な面白さも盛り込まれている。 例えば５巻の騎馬戦では、チェーザレの熾烈な戦いと、気の抜けるアンジェロの戦い（？）の対比に思わず笑う。			
	2-5巻	100P (180分)	5巻Ｖｉｒｔｕ39～	2008/10/14 23:42:06

ＴＯＰへ

風の影 上・下

著者名	カルロス・ルイス・サフォン	発行年	2006年
出版社名	集英社文庫	ページ数	812ページ
値段	1,486円	ISDN	4-08-760508-6
コメント	バルセロナ発ファンタジック・ミステリー。 「父につれられて、はじめて『忘れられた本の墓場』を訪問したあの夜明けのことを、ぼくはいまでもよく覚えている。」――この冒頭の一行に感応したら入ってみる価値あり。20ページまで進んでも、その熱が続いてたら、さらに深入りする価値あり。 つまみぐいしても、たぶん、おいしくないので、どしりと腰を据えてどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
弟子 ☆☆☆☆	とりあえずクララおねえちゃんといちゃいちゃするところまでは読んだ。 特に序盤の口調や文中の表現がかなり児童文学に近く、人によっては拒否反応を示す運じゃないだろうかと危惧したが、コメントを見る限りそうではなさそうだったので安心した。機会があったら全部読んでしまおうと思う。			
	11-80	70P (30分)		2009/02/20 06:18:57
前田 ☆☆☆	本の謎や本を燃やす謎の人物などかなり興味を引かれたが途中で力尽きた でも久しぶりに小説を読んで あのわくわく間もいいなと改めて思った			
	1-293	283P (150分)		2009/02/16 21:11:30
david wright ☆☆☆☆	ひさびさにミステリーを読んだが、結局よくわからなかった			
	1-812	812P (4000分)		2009/01/24 00:11:24
ザルカヴァ ☆☆	何となく歴史書っぽくて苦手でした。			
	上130-169	40P (30分)		2008/12/19 11:48:28
kabadie ☆☆☆☆☆	本に関するアドベンチャー的な内容でありながら、当時のバルセロナの状況も詳しく描写されている。描写方法もしゃれていて、景色を思い浮かべながら読める。			
	上11-下390	800P (240分)	210-389	2008/11/26 11:41:56
snsk ☆☆☆	初めての立ち読みでしたが、濫読するのには向いていないかもしれません・・・途中から読もうとトライしたのですが結局最初から読むことになりました。 描写が細かく書かれている部分もあり、ミステリー(？)でありながら恋愛も混ざっていて、個人的には面白かったです。			
	1-257	257P (180分)		2008/10/17 23:43:19
!? ☆	時間がなくてほとんど読めませんでした。			
	1-50	50P (15分)		2008/10/17 16:04:41

TOPへ